

科 目 名		学年		
ネットワーク技術概論 : Introduction to Network Processing		5B		
教 員 名 内田保雄 : UCHIDA Yasuo				
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	90分×15回	選択	演習・前期	—
授業概要	いまやコンピュータとネットワークは切っても切れない関係となっている。また、パソコンの高性能化と低価格化により、小規模事業者や個人レベルでもサーバを構築することが可能となり、そのための技術が求められるようになってきた。そこで、コンピュータシステムへの各種ソフトウェアのインストール法、ネットワーク設定法、クライアント/サーバシステムの構築法等について学ぶ。			
到達目標		評価方法		
(1)ネットワークで使われる基本的な技術を説明できる。 (2)OS(Linux)をインストールし、利用できる。 (3)単純なクライアント/サーバシステムを構築できる。		①中間試験(50%)、②期末試験(50%)で評価する。		
学習・教育目標		(D)①	JABEE基準1(1)	(d)-(3)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	OSとネットワークの意義	OSとネットワークの関わりおよび意義について説明する。	
	第2	OS(1)	OSの概念と役割	
	第3	OS(2)	Linuxとは	
	第4	OS(3)	Linuxのインストール	
	第5	OS(4)	UNIXのコマンド	
	第6	OS(5)	環境設定	
	第7	OS(6)	パッケージ管理	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	OS(7)	ユーザ管理	
	第10	OS(8)	X Window System	
	第11	OS(9)	日本語の利用	
	第12	ネットワークの基礎知識	TCP/IP、ネットワーク設定	
	第13	クライアント/サーバシステム(1)	Webサーバ	
	第14	クライアント/サーバシステム(2)	TELNETサーバ、FTPサーバ	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		宿題を課す。		
関連科目		データベース論		
教科書		基礎からのCentOS 5(内田保雄・工学社)		
参考書		はじめのTCP/IP(恒川裕康・秀和システム)		
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備考		Webで補足資料を提示する。		